



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東
コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 時田 孝志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 青木 智彦 TEL 0544-58-9080
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月9日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	60,319	3.6	1,524	△11.6	1,306	△38.1	800	△56.2
2024年3月期中間期	58,208	22.9	1,724	—	2,110	—	1,829	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,965百万円 (△5.4%) 2024年3月期中間期 4,191百万円 (61.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	42.28	—
2024年3月期中間期	95.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	86,893	34,877	40.1
2024年3月期	81,934	31,057	37.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 34,877百万円 2024年3月期 31,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2025年3月期	—	7.50	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	△1.8	2,000	△28.9	1,400	△52.1	900	△63.7	47.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	19,410,000株	2024年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	477,110株	2024年3月期	476,689株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	18,933,132株	2024年3月期中間期	19,130,260株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く環境は、半導体供給不足の解消により自動車の生産は以前の状態に戻つつありますが、中国では自動車市場のニーズが大きく変化していることや地政学的リスクの高まりによる不安定な世界情勢等の懸念は残存し、引き続き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当中間連結会計期間における売上高は、中国での日系自動車メーカーの販売苦戦の影響、北米での得意先の減産及び原材料価格等の下落に連動し、販売価格が下がった影響等による減収はあるものの、日本・東南アジアでの得意先の増産、北米での為替換算による増収影響等により前年同期比3.6%増の60,319百万円となりました。損益面では、日本・東南アジアでの増収影響等による良化要因はあるものの、北米・中国での減収影響、賃金上昇を受けた労務費の増加等により営業利益は前年同期比11.6%減の1,524百万円、経常利益は前年同期比38.1%減の1,306百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比56.2%減の800百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

国内の売上高は、得意先の増産、新規得意先の増加影響、当期の原材料価格・電力料の高騰、賃金上昇影響等の販売価格転嫁の進展等により21,298百万円と前年同期に比べ269百万円(1.3%)の増収となりました。セグメント利益は、増収影響、第3四半期以降に新車開発費及び諸経費の一部がずれ込み、固定経費が抑制されたこと等により589百万円(前年同期は19百万円のセグメント利益)となりました。なお、新車開発費は年間を通して高い水準で推移する見通しです。

② 北米

北米の売上高は、為替換算による増収影響等を受け29,404百万円と前年同期に比べ1,623百万円(5.8%)の増収となりましたが、為替の影響を除くと得意先の減産及び原材料価格等の下落に連動し、販売価格が下がった影響等により減収となりました。セグメント利益は、減収影響、賃金上昇を受けた労務費の増加、将来立ち上がる新車開発費の増加等により383百万円と前年同期に比べ1,203百万円(△75.8%)の減益となりました。なお、新車開発費は年間を通して高い水準で推移する見通しです。

③ 中国

中国の売上高は、日系自動車メーカーの販売苦戦の影響等により7,361百万円と前年同期に比べ105百万円(△1.4%)の減収となりました。セグメント損失は、149百万円(前年同期は70百万円のセグメント損失)となりました。前期に経費削減等の対策を講じた効果はあるものの、減収影響等により赤字幅は拡大しました。

④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、得意先の増産等により2,253百万円と前年同期に比べ322百万円(16.7%)の増収となりました。セグメント利益は、増収影響、車種構成差等により754百万円と前年同期に比べ519百万円(220.9%)の増益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、86,893百万円となり、前連結会計年度に比べ4,959百万円増加しました。これは現金及び預金の増加1,758百万円、有形固定資産の増加1,755百万円が主な要因であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、52,016百万円となり、前連結会計年度に比べ1,140百万円増加しました。これは短期借入金の増加4,246百万円、支払手形及び買掛金の減少1,284百万円、長期借入金の減少1,082百万円が主な要因であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、34,877百万円となり、前連結会計年度に比べ3,819百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加3,248百万円及び利益剰余金の増加655百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2024年5月10日に公表の業績予想値より変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,404	14,163
受取手形及び売掛金	17,948	17,648
製品	1,883	1,752
仕掛品	1,277	1,107
原材料及び貯蔵品	11,161	11,465
その他	1,674	2,555
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	46,346	48,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,358	10,091
機械装置及び運搬具(純額)	10,338	11,079
工具、器具及び備品(純額)	4,056	3,902
土地	3,493	3,588
その他(純額)	2,570	2,910
有形固定資産合計	29,816	31,572
無形固定資産		
その他	348	333
無形固定資産合計	348	333
投資その他の資産		
投資有価証券	3,498	3,397
繰延税金資産	243	243
その他	2,029	3,001
貸倒引当金	△348	△342
投資その他の資産合計	5,422	6,300
固定資産合計	35,587	38,205
資産合計	81,934	86,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,059	10,775
短期借入金	14,766	19,012
1年内返済予定の長期借入金	2,657	2,406
未払法人税等	168	173
賞与引当金	1,359	443
役員賞与引当金	58	8
製品保証引当金	2,256	2,287
その他	5,568	5,765
流動負債合計	38,895	40,872
固定負債		
長期借入金	6,075	4,993
繰延税金負債	2,147	2,475
退職給付に係る負債	2,590	2,576
役員株式給付引当金	155	143
製品保証引当金	58	66
その他	954	889
固定負債合計	11,981	11,144
負債合計	50,876	52,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	18,813	19,468
自己株式	△233	△234
株主資本合計	27,000	27,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,685	1,604
為替換算調整勘定	2,569	5,818
退職給付に係る調整累計額	△197	△200
その他の包括利益累計額合計	4,057	7,222
純資産合計	31,057	34,877
負債純資産合計	81,934	86,893

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	58,208	60,319
売上原価	52,309	54,265
売上総利益	5,899	6,053
販売費及び一般管理費	4,174	4,528
営業利益	1,724	1,524
営業外収益		
受取利息	71	67
受取配当金	47	59
投資不動産賃貸料	32	32
持分法による投資利益	1	—
為替差益	634	70
その他	51	57
営業外収益合計	839	287
営業外費用		
支払利息	444	470
持分法による投資損失	—	0
その他	9	35
営業外費用合計	453	505
経常利益	2,110	1,306
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
税金等調整前中間純利益	2,113	1,306
法人税等	283	505
中間純利益	1,829	800
親会社株主に帰属する中間純利益	1,829	800

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,829	800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	437	△81
為替換算調整勘定	1,805	3,248
退職給付に係る調整額	118	△2
その他の包括利益合計	2,362	3,164
中間包括利益	4,191	3,965
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,191	3,965

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	21,029	27,781	7,467	1,930	58,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,507	19	1,084	3,534	7,146
計	23,536	27,800	8,552	5,465	65,355
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	19	1,587	△70	235	1,770

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,770
セグメント間取引消去	△46
その他の調整	0
中間連結損益計算書の営業利益	1,724

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	21,298	29,404	7,361	2,253	60,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,514	7	565	5,128	8,216
計	23,813	29,412	7,927	7,382	68,536
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	589	383	△149	754	1,578

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,578
セグメント間取引消去	△54
その他の調整	0
中間連結損益計算書の営業利益	1,524

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。